



湊公園入口辺 (画:清水喜輝氏)



ロータリー：
変化をもたらす

WEEKLY REPORT

No.2912 2018年1月22日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★ 点 鐘

磯崎久喜雄会長
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 司会 磯崎久喜雄会長

★ 会長挨拶

磯崎久喜雄会長
 本日は戊年初めての職場訪問ということで、
 暦の上では大寒のなか参加者は少なかったです
 が、遊座文郎職業奉仕委員長のお骨折りにより、
 市内に本部と訓練施設を置く全国盲導犬協会を
 見学してまいりました。

★ 出席報告

磯崎久喜雄会長
 会 員 数 28名
 出 席 者 10名
 欠 席 者 17名
 出席免除者 1名
 メークアップ 1名
 出 席 率 40.7%

★ 職業奉仕月間 (職場訪問)

「全国盲導犬協会について」
 遊座文郎職業奉仕委員長

1月22日(月)に、ひたちなか市東石川にある「全国盲導犬協会」を訪問、見学してきました。参加者は、磯崎久喜雄会長、安達良司会員、藤咲久光会員、磯崎孝会員、菊池眞一郎会員、根本博会員、根本隆会員と私の8名でした。

代表理事の斉藤つぎ様より施設の概略のお話をさせていただき、指導員の中野薫様より、盲導犬の訓練の実際を見学して参りました。



(一財) 全国盲導犬協会
 さあ、盲導犬と歩きましょう
 - The Countrywide Guide Dog Operations
 (CGDO)

■ 全国盲導犬協会について
 一般財団法人全国盲導犬協会は、茨城県ひ



たちなか市に本部と訓練施設を置く、盲導犬育成施設です。2013年（平成25年）9月、第二種福祉事業として事業を開始。2014年（平成26年）3月に国家公安委員会より「盲導犬の訓練を目的とする法人」として指定を受け茨城県で初めて、全国では11番目（わんわん）の指定法人となりました。本拠地のある茨城県を活動の中心としながらも、要請があれば全国各地に駆け付けたいとの思いから、「全国盲導犬協会」と名前をつけていますが、設備、陣容ともにとても小さな施設です。

■ 協会の概要・沿革

- ・一般財団法人全国盲導犬協会
- ・The Countrywide Guide Dog Operations (CGDO)
- ・会社法人等番号：0500-05-010897
- ・第二種動物取扱業（茨城県）
- ・平成25年9月1日：第二種社会福祉事業開始
- ・平成26年3月27日：国家公安委員会指定
- ・平成27年5月1日：社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会（日盲社協）自立支援施設部会加入

■ 協会の活動について

全国盲導犬協会は、盲導犬を育成し、視覚障がい者に貸与します。また、貸与希望者には歩行指導（合宿訓練）を施し、貸与後にはフォローアップ（貸与期間中に発生する問題の調査と問題解決への支援）をおこないます。協会の活動は、次の2点を目的としています。

- ・視覚障がい者が、盲導犬とパートナーを組むことで、白杖や手引きに頼らず、独力で安全に歩行できるようにすること
- ・盲導犬とユーザーが、社会の中で不自由なく生活できるようにすること

第1の目的、視覚障がい者が安全に歩行するためには、完成度の高い盲導犬が欠かせません。当協会では、ベテランの指導員が中心となり訓練業務にあたっています。歩行指導や貸与後の生活指導にも柔軟に対応します。

第2の目的、盲導犬とユーザーが社会の中で不自由なく生活するためには、ユーザー自身も、盲導犬と共に訓練を受けなければいけません。当協会には、相談役として経験豊富な盲導犬ユーザーが参加しており、特に初めて盲導犬を貸与される方の戸惑いや悩みに、ユーザーの立場からアドバイスやサポートをおこないます。



■ スタッフ：役職員（50音順）

- 柏 正 雄（理事）
- 斉 藤 つ ぎ（代表理事）
- 佐 藤 育 代（歩行指導員）
- 白 土 正 人（前理事）
- 中 野 薫

■ スタッフ：専門嘱託（50音順）

- 青 木 幸 博（嘱託獣医師）
- 千代田 和 美（嘱託医師）



■ 所在地／アクセス

全国盲導犬協会は、茨城県ひたちなか市にあります。JR 東日本常磐線の勝田駅からは徒歩で 30 分程度ですが、駅からは路線バスも利用できます。大きな道路に面していますので、お車でお越しの場合にも分かり易い場所にあります。協会の向かいにはショツピンクモールがあり、スーパーマーケットやドラッグストア、衣料品店、美容室などが入っています。また、徒歩圏内には飲食店も多くあります。視覚障がいの方が合宿訓練を受けるに適した環境です。

■ 事務局

住所：〒 312-0052

茨城県ひたちなか市東石川 3444-7

電話：029-272-7210

(現在の受付時間：祝日を省く月～金曜日の 12 時 30 ～ 14 時まで)

メール：Secretariat @ cgdo.or.jp

■ 訓練施設（愛称：ローリーハウス）

住所：〒 312-0052

茨城県ひたちなか市東石川堂端 3610-10

電話：029-275-3122

(緊急の場合を省き、可能な限り事務局へメールでご連絡ください)

■ 訓練施設へのアクセス

(ご来訪の際には、事前連絡をお願いします)

■ 電車をご利用の場合

最寄りの駅は常磐線勝田駅です。西口を出て、駅を背に右の方向へ進みます。道なりに約 1.5 キロメートル歩き、5 つ目の信号を左折します。直線で約 60 メートル歩くと、左側が当協会の訓練施設（ローリーハウス）です。ローリーハウスの近くにはバス停もあり、駅からは、ひたちなか市の「あおぞらスマイルバス」が利用できます。

■ 県外から自家用車をご利用の場合

最寄りのインターチェンジは常磐高速道路の那珂 IC、北開乗自動車道の水戸南 IC、または、ひたちなか IC です。

日本の盲導犬協会と訓練施設

①昭 53/12 (公財)日本盲導犬協会：東京都渋谷区

◎同協会神奈川訓練センター：神奈川県横浜市

◎同協会日本盲導犬総合センター（盲導犬の里富士ハーネス）：静岡県富士宮市

◎同協会仙台訓練センター（スマイルワン仙台）：宮城県仙台市

◎同協会島根あさひ訓練センター（パピネス）：

島根県浜田市

②昭 53/12 (公財) アイメイト協会：東京都練馬区

③昭 53/12 (公財) 北海道盲導犬協会：北海道札幌市

④昭 53/12 (公財) 東日本盲導犬協会：栃木県宇都宮市

⑤昭 53/12 (社福) 日本ライトハウス：大阪府大阪市

⑥昭 58/08 (公財) 関西盲導犬協会：京都府亀岡市

⑦平 01/01 (公財) 九州盲導犬協会：福岡県福岡市

⑧平 16/07 (社福) 兵庫盲導犬協会：兵庫県神戸市

⑨平 22/06 (公財) 日本補助犬協会：神奈川県横浜市

⑩平 25/08 (社福) 中部盲導犬協会：愛知県名古屋市

⑪平 26/03 (一財) 全国盲導犬協会：茨城県ひたちなか市

指定法人とは？

目の見えない人が道路を通行するには、白杖を使用する、または盲導犬を帯同するよう法律で定められています（道路交通法第 14 条第 1 項）。そしてこの盲導犬は、国家公安委員会（警察庁）より指定を受けた法人が、盲導犬として必要な訓練をおこなった、または盲導犬として必要な訓練を受けていると認めた犬でなければいけません（同法施行令第 8 条第 2 項）。

盲導犬の生涯

【誕生～2か月】

繁殖犬飼育ボランティア、またはブリーダーのところで生まれた子犬は、その後約 2 か月間を母犬のもとで過ごします。

【2か月～1才2か月】

子犬飼育ボランティア（パピーウォーカー）の家庭で愛情豊かにすくすくと育ちます。家族の一員として人間とともに過ごし、様々な経験を積むことで社会性を身につけます。1 才から 1 才 2 か月になると協会へ戻ります。

【1才2か月～2才頃】

訓練がはじまります。基礎訓練（人間と生活するために必要な立ちふるまい）と誘導訓練（目の見えない人を誘導する方法）を半年から 10 か月程度おこないます。その後さらに 1 か月間、使用者となる人と合同で受ける訓練があります（歩行指導）。

訓練の過程では、様々な審査やテストによって盲導犬としての適性を見定めます。盲導犬に向かないと判断された犬は、進路変更（キャリアチェンジ）犬として一般家庭に引き取られます。

【2才頃～10才頃】

最終試験（卒業試験）に合格した犬は「盲導犬」として社会にデビュー。目の見えない人

の「目」となり引退まで活躍します。

【10才～】

一律に決まっていますが、ひとつの目安として10才になると引退し、引退犬飼育ボランティアの家庭でゆっくりと余生を過ごします。平均寿命は13才弱で、健康管理が行き届いているためか、ペットとして飼われている犬(12才弱)よりも長生きとも言われています。

飼育ボランティアとは

盲導犬の育成は、沢山の方々の様々なボランティア活動によって支えられています。「飼育ボランティア」もそのひとつです。「繁殖犬飼育ボランティア」は協会所有の繁殖犬を預かり、自宅で飼育します。母犬の場合には、出産のお世話をし、生まれてきた子犬の面倒も見ます。「子犬飼育ボランティア(パピーウォーカー)」は盲導犬候補の子犬を家庭で育てながら、子犬のうちに色々な経験をさせてあげます。「進路変更犬飼育ボランティア」は盲導犬には向かなかった犬を家庭犬として引き取ります。引き取った後、競技犬などの「新しい進路」を見つけてあげる方もいます。「引退犬飼育ボランティア」は盲導犬を引退した犬に、ゆっくりと余生を過ごせる場を与え、やがて来る最期を見届けます。ご関心をお持ちの方は別途チラシ、または協会のホームページをご覧ください。

URL : <http://cgdo.or.jp/>

支援のお願い

現在の日本では、盲導犬協会の運営と盲導犬の育成に必要な財源の9割が、企業、団体、個人の皆様からの寄附金と協賛金によって賄われています。当協会も例外ではありません。日本で活動中の11の盲導犬協会は、それぞれが

独立した組織であり、必要な資金は、各協会が独自に確保することになっています。皆様からのご支援を、私ども(一財)全国盲導犬協会にもお寄せいただければ、大変助かります。お寄せくださった寄附金と協賛金は全額、当協会の運営費と盲導犬の育成費として大切に役立ててまいります。

以下の口座にお寄せいただきましたご支援には領収書を郵送しております。当協会が配布します赤枠の、または郵便局に備え付けの青枠の振込用紙(払込取扱票)をご利用ください：

【ゆうちょ銀行振替口座】

口座記号・番号：00100-7-695089

(口座番号の「695089」は、右詰めでご記入ください)

加入者名：(一財)全国盲導犬協会





ロータリー：
変化をもたらす

2017-18ガバナー 保延輝文

未来へチャレンジ





ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-18 年度国際ロータリー会長
イアン・ライズリー



「出席はロータリアンの3大義務の1つです」